

【バス運営の現状について（ご報告とご相談）】～スクールバス利用者限定

いつもお世話になっており、ありがとうございます。

スクールバスの運行も徐々に落ち着いてきてほっとしています。

まだ開校したてのタイミングなのですが、バスに関して課題が見えてきましたので、ご報告と相談をいたします。

【現状】

- ・ハイエースはほぼ満席（生徒席8名に対して乗車7名）
- ・バス運営は赤字（⇒毎月24万円赤字＝一人当たり▲4万円）
内訳：収入77,000円（車両整備費協力金1.1万×7名分）
支出320,000円（運転手1万×22日、ガソリン4、駐車場3、保険・車検等3）
～車両購入等費用300万円の償却は上記支出には含まれず。

【想定していなかったこと】

- ・コストが想定以上。特に運転手コストが大きく、かつ採用が難しい。運転手は日給1万円では外部募集できず、内輪で回している状況。通常業務もあり負担大。引き続き募集中。業界相場は直接雇用で月給30万円、派遣会社経由で40万～50万円との情報もあり。
- ・今年度が始まったばかりですが、来年度の送迎はどうなりますか？とのご質問を受けて、回答に困ってしまいました（目黒2～3名、駒沢2～3名の内部進学者がバス希望？）
- ・単純な方法（例：一台を増やして運転手を雇う）で対応すると状況は悪化する一方。
- ・間接的要因：プリスクールやHILLOCKキンダーがコロナ禍による不調で、グループ全体としてもあまり余力はない状態（キッズアイランド砧公園校の閉校など）

【論点】

- ・スクールバスの希望者が増えるほど赤字が拡大し、本業（シェルパや事務員の採用）への影響も懸念される。
- ・持続可能な範囲にマネージしつつ、バス送迎の仕組みは続けていきたい。
スクール全体の視点からも重要施策であるため（遠足時活用 | 生徒募集安定 | 将来移転）

【対応の方向性】

- ・バス赤字の早期改善：①持続性確保に向け大赤字を小赤字に改善、②一般費からのバス費用への繰入れ減少、を早期に実現する（いずれにせよ、バス協力金アップは必要か）
- ・長期的な方向性：来年度募集（内部生6月末、一般生9月）も見据えつつ、対応を早急に詰めていく。例えば、以下の3つの方向が考えられる。
 - ①現状の体制で一年毎調整？：希望者で毎年くじ引き？、距離や年齢で調整？
 - ②ハイエースを増やす？：購入負担・運転コスト負担大（さらなる協力費アップ？）
 - ③20人乗りに買い替える？：中型の運転手や車両が必要（絶対額は増⇔一人当たり費用は減、全体移動時の利便性）、ルートシンプル化も必要

バスの現状について懸念事項がありましたので、取り急ぎ上記の通りご報告いたしました。特にコスト面が課題ですが、バスに乗る人・乗らない人・将来入ってくる人のみんなにとつて、できる限り長期的に良い形となるよう方法を考えていきたいと思っております。本件は当面「スクールバス利用者限り」で話を進めたいと思っております。今後も都度ご報告・ご相談申し上げます。ご協力をお願い致します。

2022年4月
堺谷武志